

日本ニューマチック工業

適用範囲		型 式		SG-20	SG-50	SG-80	SG-110
		質 量 kg		200	540	870	1,300
		取付可能機体質量 (単位 t)		2.7~3.5	6.0~9.0	10~16	19~21
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検 査 基 準 値			
旋回装置	旋回ベアリング	取付ボルトサイズ	mm	10	14	16	16
		締付トルク	N・m	70	200	350	350
			kg・m	7	20	35	35
		取付ボルトサイズ	mm				
		締付トルク	N・m				
			kg・m				
油圧装置	シリンダー	開閉シリンダー (図 7-32 参照)					
		伸縮量	mm	30	30	50	50
		測定時間	分	5	5	5	5
つかみ部	つかみポイント (ツース)	つかみポイント					
		基準値	mm				
		許容限度	mm				
		摩耗限度	R				
	つかみポイント (すべり止め部材)	つかみポイント (図 7-33 参照)					
		基準値	mm	17	22	25	30
		許容限度	mm	8.5	11	12.5	15
		つかみポイント					
		基準値	mm				
		許容限度	mm				

解体用つかみ具（内部シリンダー作動型）

[illegible]

1. 開閉シリンダー伸縮量の測定

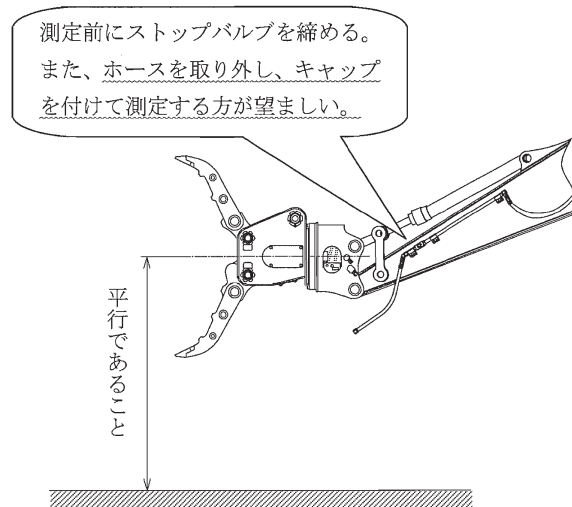


図 7-32 開閉シリンダー伸縮量の測定

- ①エンジンを始動する。
 - ②車両を平坦な場所に移動する。
 - ③アタッチメントのフレームの中心（中心線）が、地面と平行になるように、また、アームが地面と鉛直向きになるようにする。（図参照）
 - ④アームを最大開口まで開く。
 - ⑤エンジンを止める。
 - ⑥ストップバルブを締める。
（この時、ホースを取り外し、キャップを付けた方が望ましい。）
 - ⑦この状態で5分間放置し、測定を行う。
- ※油温は 55℃までであること。

2. つかみポイント（すべり止め部材）の測定

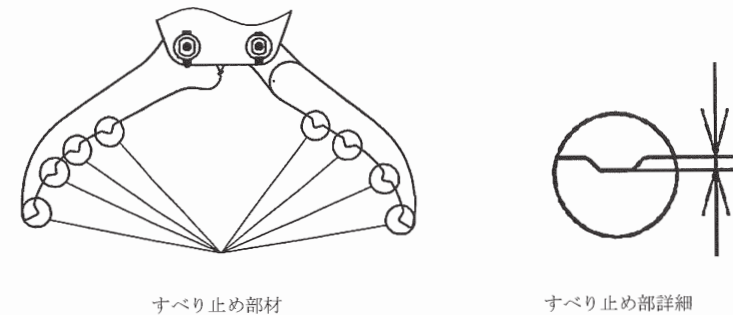


図 7-33 つかみポイントの測定